

表 2705 糖尿病の有無 治療方法(新分類)別(透析患者全体)

治療方法 (新分類)	糖尿病なし	糖尿病あり	合計	不明	記載なし	総計
施設血液透析 (%)	98,018 (45.2)	118,696 (54.8)	216,714 (100.0)	32,005	6	248,725
Off-line HDF (%)	2,399 (54.4)	2,007 (45.6)	4,406 (100.0)	925	1	5,332
On-line HDF (%)	19,609 (51.5)	18,470 (48.5)	38,079 (100.0)	6,448		44,527
Push/Pull HDF (%)	43 (47.3)	48 (52.7)	91 (100.0)	19		110
ハイオフィルレーション (%)	112 (47.5)	124 (52.5)	236 (100.0)	31		267
IHDF (%)	1,424 (44.7)	1,759 (55.3)	3,183 (100.0)	357		3,540
血液濾過 (%)	6 (50.0)	6 (50.0)	12 (100.0)	4		16
血液吸着透析 (リクセル等使用) (%)	1,022 (88.0)	139 (12.0)	1,161 (100.0)	215		1,376
在宅血液透析 (%)	337 (74.2)	117 (25.8)	454 (100.0)	101		555
腹膜透析 (CAPD) (%)	1,950 (50.2)	1,933 (49.8)	3,883 (100.0)	1,019		4,902
腹膜透析 (APD) (%)	1,093 (48.5)	1,160 (51.5)	2,253 (100.0)	522		2,775
腹膜透析 (CCPD) (%)	454 (52.5)	411 (47.5)	865 (100.0)	227		1,092
合計 (%)	126,467 (46.6)	144,870 (53.4)	271,337 (100.0)	41,873	7	313,217
記載なし (%)						
総計 (%)	126,467 (46.6)	144,870 (53.4)	271,337 (100.0)	41,873	7	313,217

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

*糖尿病ありとは、原疾患が糖尿病性腎症または、糖尿病の既往がありの患者。

糖尿病なしとは、原疾患が糖尿病性腎症以外で且つ糖尿病の既往がない患者。

記載なしとは、原疾患と糖尿病の既往いずれも記載のなかった患者。

不明とは、上記以外。

*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバッック交換の両方を行うもの

(C)Japanese Society for Dialysis Therapy